

令和元年度「議会とかたる会」テーマに対する意見のまとめ

現状と課題	解決策
無投票について	無投票について
① 意見	① 意見
<ul style="list-style-type: none"> ・無投票でもよいではないか。お金もかからないし市政がうまくいくなればそれが一番。 ・無投票に問題を感じていない。 ・選挙はあった方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・立候補者が定数内であっても投票を行い、結果をだしていくことも大事だ
② 無投票のデメリット	② 無投票のデメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・どんな人が議員になったのか、どんな公約を持っているのかわからない。 	
無投票となった背景	無投票となった背景
< 市政に対して市民が無関心 >	< 市政に対して市民が無関心 >
① 興味がない	① 興味がない
<ul style="list-style-type: none"> ・選挙に無関心でも不自由がない。 ・何についても人任せの市民が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間・休日議会の開催。 ・小学校から主権者教育をする。 ・大人(親)への主権者教育を充実させる。 ・若い人が立候補したいと思えるよう勉強会を開く。 ・立候補者の討論会を開催し市民の関心を高める。
② 生活面から	② 生活面から
<ul style="list-style-type: none"> ・非正規労働者が増加する中で、政治に目を向けていられない境遇の人が増加している。 ・自分が生きることに精いっぱい、政治には無関心とならざるを得ない。 ・勤務先などの関係で軸足が市外に出ている。 ・若い人が働く場が少なくなり、あったとしても都市部と比べて低賃金。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致を進め若者の就労機会を多くする。 ・農業を活性化させ就労につく機会を作る。
③ その他	③ その他
<ul style="list-style-type: none"> ・投票場所が少なくなったことが投票率の低下に影響しているのではないか ・投票率が悪いのは有権者が市議会に興味がないから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・期日前投票ができる場所を増やす。 ・投票所を各区に設置する。
< 立候補しない理由 >	< 立候補しない理由 >
① 現行の仕事に対する不安	① 現行の仕事に対する不安
<ul style="list-style-type: none"> ・今の仕事をやめてまで議員になれない。 ・次の保証がないので若い人が立候補しにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会社の理解と制度の柔軟性。 ・今の仕事をしながら議員をやっているように。
② 選挙に対する不安	② 選挙に対する不安

令和元年度「議会とかたる会」テーマに対する意見のまとめ

現状と課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> 立候補するにあたって家族の賛同が得られない。 基盤(地盤、かんばん、かばん)を持っていない若者にとってハードルは高い。 当選するかどうかは不明だし、当選したとしても4年後はわからない。 選挙費用がどの位かかるか不安である 	
③ 議員としての職務に対する不安	③ 議員としての職務に対する不安
<ul style="list-style-type: none"> 市議は大変だという意識が強い。 自分にできるのか、どこで学ばばよいのか、仕事と両立できるのかわかっていない。 	
④ その他・期待	④ その他・期待
<ul style="list-style-type: none"> 気概のある市民を盛り立てて立候補までもっていくことは容易ではない。 若くて仕事ができる魅力ある人に立候補してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> やる気がある人と出会う場を
<議員報酬>	<議員報酬>
① 少ないと思う意見	① 少ないと思う意見
<ul style="list-style-type: none"> 議員報酬だけでは生活が成り立たない。 報酬が少ないから兼業をしないとできない。 現状の勤務先からの給与の方が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 議員報酬の増加。 議員だけで生活が出来る報酬が必要。
② 多いと思う意見	② 多いと思う意見
<ul style="list-style-type: none"> 議員に賞与はいらないのでは。 議員報酬を半分にして区長手当を上げる議論をしてはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> 報酬を少なくして定数を増やす。
③ 妥当な金額だと思う意見	③ 妥当な金額だと思う意見
<ul style="list-style-type: none"> 報酬に問題ない。 	
④ 手当・補償など(期末手当・費用弁償除く)	④ 手当・補償など(期末手当・費用弁償除く)
	<ul style="list-style-type: none"> 社会保険制度を見直し、議員が社会保険に入れるように。 議員年金の再構築。 退職金制度の導入。
⑤ その他	⑤ その他
<ul style="list-style-type: none"> しっかり仕事をやっている議員とそうでない者の報酬とでは違いがあって当然。 	
<議員定数>	<議員定数>

令和元年度「議会とかたる会」テーマに対する意見のまとめ

現状と課題	解決策
<p>① 定数は多いという意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内他市(諏訪市)と比較して多いのではないかと ・人口に比べて議員数が多い。 	<p>① 定数は多いという意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員の数を減らして区長の権限を強くする。 ・定数減も考える。無投票回避のため。
<p>② その他の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市のために働いていれば議員は多くても市民は納得する。 ・定員を削減すれば市民の意見を聴取する機会が狭まる。 	<p>② その他の意見</p>
<p><選挙制度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・無投票でも議員の公約を市民に知らせてほしい。 ・選挙費用の内公費負担分がどの位かかるかわからない。 	<p><選挙制度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホで投票など投票率を上げる努力をすべき。 ・選挙費用が公費で出るとを詳しく知らせると出やすくなる。 ・現行30万円の供託金を下げる
<p><その他></p>	<p><その他></p>
<p>① 議員のPR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の課題を市民に分かりやすく伝える。 ・議員の活動や様子が市民に伝わっていない。 ・議員の仕事の内容がわからない。活動日数や拘束される日数など具体的に知りたい。 ・公約に対する自己評価を公表してほしい。 	<p>① 議員のPR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員のやりがい、取り組み、役割を発信する。 ・もっと読みたくなる議会だよりを工夫してほしい。 ・もっと色々な(インターネットなど)手段で議会活動を知らせる
<p>② 市民から議員への要望など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民から議会へ要望するツールが必要。 ・市民要望を取り入れる機会を作って欲しい。 	<p>② 市民から議員への要望など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の意見を吸い上げる仕組みが必要 ・議員は勉強をし、必死の努力をして全力を尽くしてほしい。
<p>③ 議会の姿勢</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会派の活動が見えない。個人の意見が反映されているか。 ・傍聴者が少ない。 ・議会の勢力が決まってしまっている。 	<p>③ 議会の姿勢</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット中継 ・会派性の在り方について再考する。 ・テレビや議会報告で見れない人がいるので告知方法を考えてほしい。
<p>④ 議員個々の資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員に人間としての魅力がない。 ・議員の仕事が市民にとって分かりにくい。 ・一般質問に提案や提言がない。 	<p>④ 議員個々の資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員自身が人格識見を高め、ちゃんと仕事をする。職責を全うする。 ・もっとレベルの高い議論で盛り上げる。 ・若者の関心が高い子育てのしやすいまちづくりに積極的に取り組む。
<p>⑤ 議員の職務についての意見</p>	<p>⑤ 議員の職務についての意見</p>

令和元年度「議会とかたる会」テーマに対する意見のまとめ

現状と課題	解決策
<ul style="list-style-type: none"> ・地域格差のない議会活動をしてほしい。 ・地域の代表だけでなく、他の地域・全体をみることも大事だ。 ・地区での議員活動が制限される。(地区への利益誘導ができない、メリットがない) 	
<p>⑥ 後継者(立候補者)の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者がいつまでも議員をやっている ・若い人を育てる気がない 	<p>⑥ 後継者(立候補者)の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現職議員が後継者を育てる ・議会・議員の仕事を学べるような塾があったらよい
<p>⑦ 女性議員について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性議員が少ない。 ・女性議員を増やすことで解決できることもある 	<p>⑦ 女性議員について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性が多く立候補できる対策をダイナミックに進める。 ・女性議員、若手議員が実績を示すとともに「私にもできるんです」と前向きなPRをする。
<p>⑧ 行政に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域では区長に相談することが多い。 ・議員だけでなく、区長・区の役員のなり手が少ない。 ・地域では区長に相談することが多い。 	<p>⑧ 行政に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体本来の役割を考え、可能な限り多くの議論をすべきである。 ・区の担当職員と区三役、市議のコミュニケーションが必要。

※類似の意見はまとめさせていただきました。

※法律的に難しい等、現実的ではない解決策も含まれておりますが、できるだけそのまま掲載しております。